



指示語・接続語(1) / 作文の書き方(3)

例題

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

□(1) A □ C □に入る言葉の組み合わせとしてふさわしいものを

次の中から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア A II それなのに B II すなわち C II たとえば
- イ A II そうしたら B II そこで C II ところで
- ウ A II そのうえ B II しかし C II だから
- エ A II ところが B II すると C II つまり

□(2) 線①「クロマニヨン人」について端的に説明した言葉を、文中から九字で書きぬきましょう。

□(3) 線②「そこ」とはどこを指しますか。文章中から十五字で書きぬきましょう。(記号も字数に数えます。)

□(4) 線③「こりゃひよつとすると、なにかあるぞ」とありますが、このときラルテが思ったこととしてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア 人骨が出たということは、その人たちの宝物が近くに埋まっているかもしれないということ。

イ 洞穴をくわしく調べれば、なぜ人骨が出てきたのか分かるかもしれないということ。

ウ 自分だったらこわがらずに、もっとたくさんの人骨を見つければ

演習問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30 25 66

(惣路紀通「カブトガニの謎」より)

□(1) — 線①「カブトガニも……動物なのです」とありますが、「グモやサソリに近い動物」である「カブトガニ」が「カニに似て」いることは、生物の進化におけるどのような例だと考えられますか。「〜という例。」に続く形で、文章中の言葉を使って三十五字以内で書きましょう。

という例。

□(2) — 線②「カブトガニの眼」について述べたものとして正しくないものを次の中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア カブトガニの眼は全部で五つあり、そのうち四つは前体に、残り一つは後体にある。

イ カブトガニの五つの眼のうち三つは、物を見るというよりも光を感じるセンサーの役割をしている。

ウ カブトガニの五つの眼のうち二つは、トンボの目と同じ数百個の個眼でできた複眼である。

エ カブトガニは夜行性のため、明るい場所よりも暗い場所のほうが眼の感度が良くなる。

□

□(3) — 線③「この眼でカブトガニはどんな世界を見ているのでしょうか」とありますが、この後でカブトガニが見ている世界を何かにたとえています。文章中から十字で書きぬきましょう。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50

45

40

35

30

25

(キム・ファン「ツシマヤマネコ飼育員物語」より)
 (注) 順化ステーション：動物園で産まれたツシマヤマネコが野生でも生きていけるように訓練を受ける施設のこと。

□(1) A □ C に入る言葉の組み合わせとしてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えましょう。

ア AⅡそうして BⅡまた CⅡところが

イ AⅡところが BⅡそこで CⅡそうして

ウ AⅡそこで BⅡつまり CⅡあるいは

エ AⅡたとえば BⅡしかも CⅡけれども

□(2) 線①「それら」が指し示すものを、文章中の言葉を使って三十五字以内で書きましょう。

□(3) 線②「ヤマネコを交通事故から守る努力」とありますが、具体的にどのようなものが挙げられていますか。三つ書きましょう。

作文

作文の書き方③

！ポイント

作文の問題では「体験」を交えて書く問題があります。また、問題にその条件じょうけんがなくても、自分の体験や見たり聞いたりしたことことを交えて作文を書くとき、説得力せつとくりよくが増まし、よい作文になります。「体験」の書き方を練習しましょう。

1 問題文に「体験」を交えて書くという条件があるか確かめる。

- ・問題文に条件がある場合は、必ず守って書きましょう。
- ↓どんなによい作文を書いても、条件が守られていなければ点数がつかないことがあります。

2 テーマに關係する「体験」を思い出す。

- ・「体験」とは、自分の体験だけではなく、テレビで見たこと、本で読んだこと、人から聞いたことなどもふくまれます。
- ・テーマに關係する「体験」をいくつか思い出し、作文の題材を選びます。

↓自分の体験から考え始めて、どうしても思いつかばない場合にテレビで見たこと、本で読んだこと、人から聞いたことなどを書くようにしましょう。

3 選んだ題材から、自分が何を考えたかを書く。

- ・作文の結論となる部分は、「体験」から考えたことになります。
- ↓結論を先に考え、それに合う「体験」を選ぶという順番でもよいです。

問題 「友達」というテーマで、体験を交えて百二十字以内の作文を書きなさい。(解答用紙は、別紙のものを使いましょう。)

手順① 「友達」とはどんなものか、考えるきっかけとなった体験を書きましょう。

手順② 手順①で書いたことをきっかけとして、「友達」とはどんなものだと考えたかを書きましょう。

原稿用紙

【原稿用紙の使い方・ポイント③】

●句読点や符号ふごうの書き方

- ・句読点(「。」や「、」や符号(「」など)は、文字と同じように、一マスに一つ書きます。

- ・句読点や「閉じ」のかぎ(」)は、行の先頭には書きません。

●小さな文字の書き方

- ・「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」などの小さな文字は、行の先頭にも書きません。句読点と混同しないように注意しましょう。

2 日本の地形について、次の資料を見て、あとの問いに答えましょう。

日本の国土のおよそ4分の3が山地で、そのほとんどはA火山活動によってできたものです。山地は日本のほぼ中央を背骨のようにつらなっています。

日本の川の多くは、B大陸の川とくらべると短くて流れが急で、C季節による水量の変化が大きいという特徴があります。

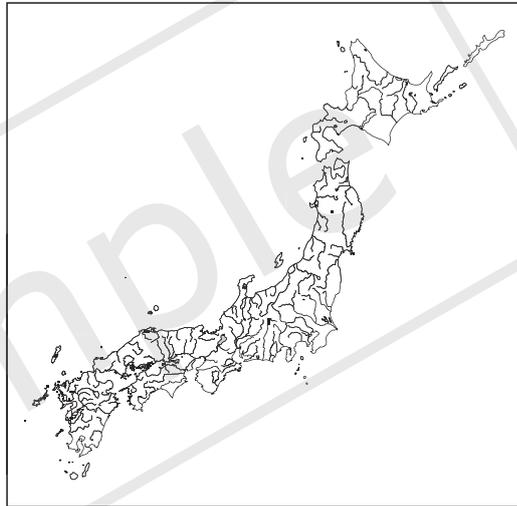
□(1) 下線部Aについて、現在も活発に活動している火山の一つである阿蘇山が位置する都道府県を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。()

- ア 北海道 イ 岐阜県 ウ 静岡県 エ 熊本県

□(2) 下線部Bについて、日本の川は長さが短く、流れが急になる理由を、資料1と資料2を参考にして書きなさい。

資料1 日本のおもな山地・山脈

資料2 日本のおもな川



()

(3) 下線部Cについて、資料3は、信濃川と利根川の月別平均流量を表しています。

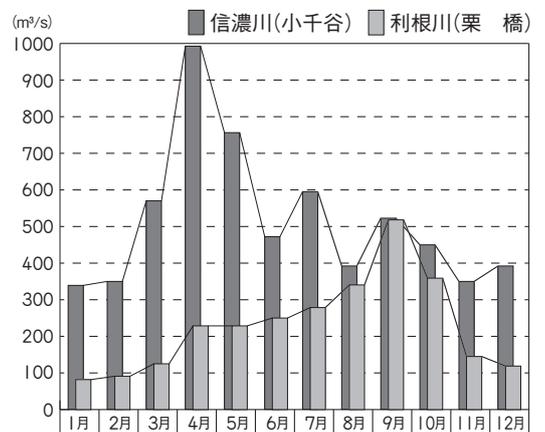
資料3

□① 信濃川の平均流量と利根川の平均流量の差が最も大きいのは何月ですか。

() 月

□② ①の月の平均流量の差が最も大きくなる理由を、その月の信濃川の流量に見られる特徴に着目して、かんたんに書きなさい。

()



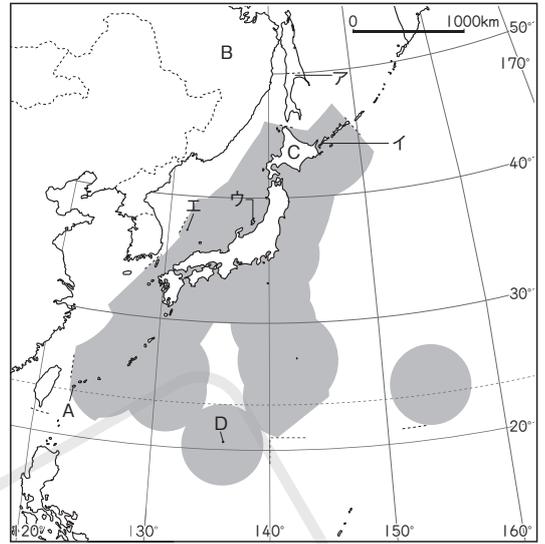
(国土交通省北陸地方整備局ホームページ)

演習問題 B

1 日本の国土について、右の地図を見て、次の問いに答えましょう。

- (1) 次の文は、地図中のAの島についてまとめたものです。□①、□②にあてはまる語の組み合わせとして正しいものをあとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。（ ）

地図



地図中のAの島は、日本の□①の端にある□②島です。

- ア ①-南 ②-与那国 イ ①-南 ②-南鳥
ウ ①-西 ②-与那国 エ ①-西 ②-南鳥

- (2) 地図中のBの国に返還を求めている島を地図中のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。（ ）

- (3) 資料1は、日本の4つの大きな島の面積の割合を表しています。地図中のCの面積の割合を示しているものを資料1中のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。（ ）

ア 61.2%	イ 22.1%	ウ 11.8%	エ 5.0%
---------	---------	---------	--------

※九州の面積には沖縄をふくむ。
※割合の合計は100%になっていない。
(2019年版「日本のすがた」)

- (4) 地図中のDの島は、満潮のときには大小二つほどの陸が1mほど顔を出すだけの小さな島ですが、国がこの島のまわりをコンクリートブロックで囲む工事を行って保護しています。この島を保護する理由についてまとめた次の文中の□①、□②にあてはまることばをかんとんに書きなさい。ただし、□①は、資料2を参考にして書きましょう。

資料2

排他的経済水域	万 km ²
日本全体	447
Dの島	42
(参考) 日本の国土面積	38

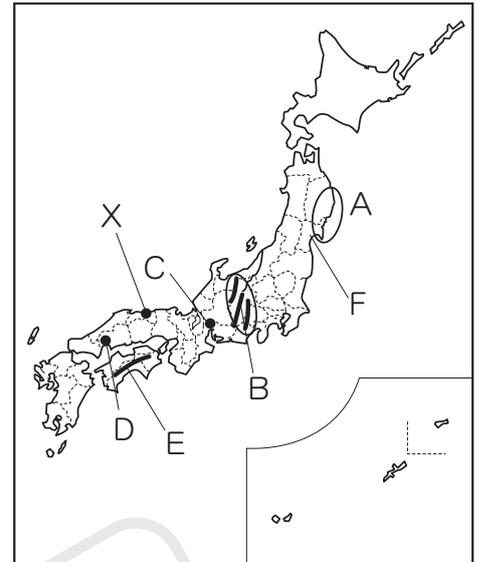
※排他的経済水域には接続水域もふくむ。
(海上保安庁資料)

Dの島の排他的経済水域は□①ことから、島のまわりをコンクリートブロックで囲むことによって、島が□②ことを防ぐためです。

- ① ()
- ② ()

2 日本の地形について、右の地図Ⅰを見て、次の問いに答えましょう。

地図Ⅰ



□(1) 地図Ⅰ中のA～Dにあてはまる説明を次のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

A () B ()
C () D ()

- ア 3000m級の山々がつらなる地域である。
- イ 大規模な三角州の上に都市が築かれている。
- ウ 洪水から家屋を守るためまわりに堤防を築いている。
- エ 複雑に入り組んだ海岸地形が続いている。

□(2) 地図Ⅰ中のEの山地の名前を書きなさい。

() 山地

□(3) 地図Ⅰ中の九州地方について述べた次のⅠ、Ⅱの文の正誤の組み合わせとして正しいものをあとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。 ()

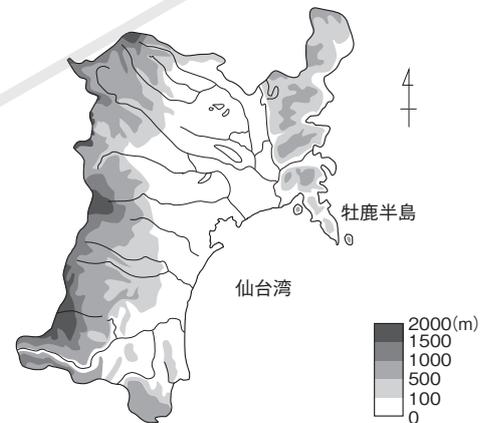
Ⅰ 九州地方には火山が多く、大分県や鹿児島県に温泉が多く見られる。
Ⅱ 九州地方には、日本で最も長い利根川が流れている。

- ア Ⅰ－正しい Ⅱ－正しい イ Ⅰ－正しい Ⅱ－正しくない
- ウ Ⅰ－正しくない Ⅱ－正しい エ Ⅰ－正しくない Ⅱ－正しくない

□(4) 地図Ⅱは、地図Ⅰ中のFの県の地形を表しています。 地図Ⅱ

地図Ⅱから読み取れることとして正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。 ()

- ア この県には、標高1500mをこえる山がない。
- イ この県を流れる川はすべて、奥羽山脈から流れ出ている。
- ウ 仙台湾の沿岸には、標高100m以下の低い土地が広がっているようすが見られる。
- エ 牡鹿半島には、標高1000mをこえる土地が見られる。



□(5) 地図Ⅰ中のXは、観光が可能な砂丘としては日本で最大のものです。次の文は、この砂丘がどのようにしてできたかをまとめたものです。□にあてはまることばをかんたんに書きなさい。

砂丘のある地域は、雨が少なく乾燥した気候となっており、川が運んできた砂が海に出て、潮の流れで海岸に運ばれ、海からふく風に□ことできました。

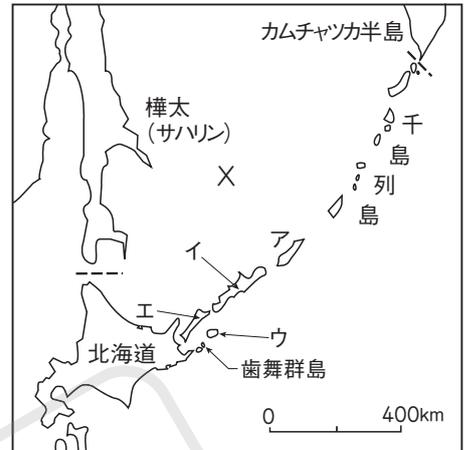
()

演習問題 A

1 日本の国土について調べ学習を行いました。次の資料を見て、あとの問いに答えましょう。

日本の北のはしにはAえとらぶとう択捉島がありますが、日本とロシアはこれらの島の領有権りやうゆうけんをめぐる話し合いをしています。

このように、日本は島国（海洋国）で、遠く離れた島も領土となっているため、Bはいたてきけいざいすいき排他的経済水域の面積は、世界有数となっています。まわりの国々と排他的経済水域が重なるため、Cしゅらう島の領有権について主張のちがいが生じています。



(1) 下線部Aについて、次の問いに答えなさい。

- ① 択捉島を地図中のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。 ()
- ② 地図中のXの海の名前を書きなさい。 ()

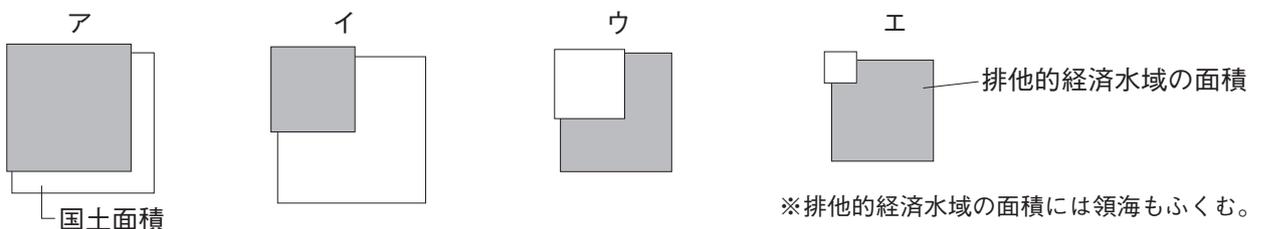
(2) 下線部Bについて、次の問いに答えなさい。

- ① 排他的経済水域についてまとめた次の文中の にあてはまることばをかたんに書きなさい。

排他的経済水域とは、領海えんがんの外側で沿岸から 200 海里までの水域で、沿岸国が 権利をもつ水域のことをいいます。

()

- ② 日本の排他的経済水域と国土面積わりあいの割合を正しく表しているものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。 ()



(3) 下線部Cについて、次の島や諸島しよとうはどの国と領有権について主張のちがいが生じていますか。それぞれ国名を書きなさい。

- ① 竹島たけしま ()
- ② 尖閣諸島せんかく ()

基本問題

次の()にあてはまる数字や語を書きましょう。

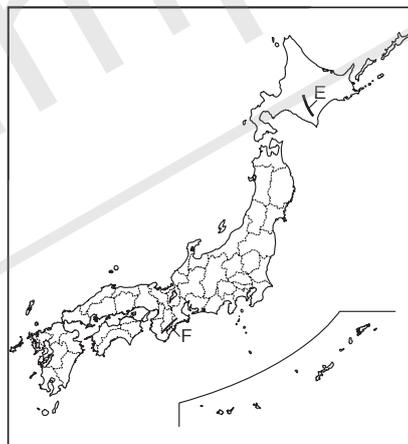
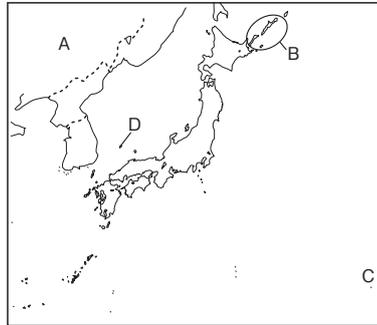
- ① 日本の標準時子午線は、東経()度の経線です。 (①)

- ② 右の図のAの国は、()です。 (②)
- ③ 右の図のBの島々を()といいます。 (③)
- ④ 右の図のCは、日本の()の端に位置する南鳥島です。 (④)

- ⑤ 右の図のDは、韓国と領有権が争われている()です。 (⑤)
- ⑥ 領海の外側で、沿岸から200海里までの、水産資源や鉱産資源を優先的に利用できる権利をもつ水域を()といいます。 (⑥)

- ⑦ 日本の国土のうち、山地はおよそ()をしめています。 (⑦)
- ⑧ 右の図のEは、()山脈です。 (⑧)
- ⑨ 右の図のFは、()山地です。 (⑨)
- ⑩ 平地のうち、まわりを山に囲まれたところを()といいます。 (⑩)
- ⑪ 川の河口にできやすい地形を()といいます。 (⑪)

- ⑫ 山地から平地になるところに土砂が積もってできる扇形の地形を()といいます。 (⑫)
- ⑬ 中部地方に見られる、洪水にそなえて堤防で囲んだ低地にある集落を()といいます。 (⑬)
- ⑭ 火山による熱を利用した発電方式を()発電といいます。 (⑭)



日本の国土（地形）

テーマ 日本が島国であり、山地が多い地形であることを理解します。地域ごとにことなるさまざまな地形の特色について学びます。

1 日本の国土

(1) 領土

- 日本の面積は約38万km²、人口は約1億2300万人(2023年)。
- 標準時子午線…東経135度で、兵庫県明石市を通過する。

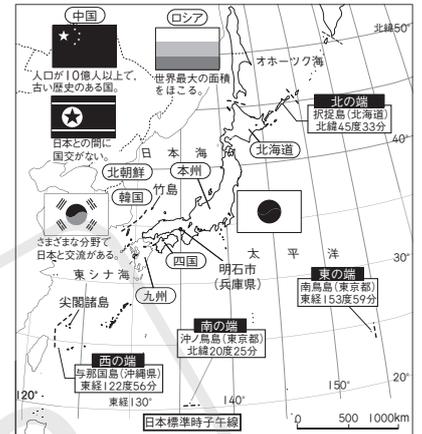
(2) 日本の特徴

- 日本はまわりを海に囲まれた島国(海洋国)で、本州、北海道、九州、四国の4つの大きな島と、約1万4千の島々からなる。
- 日本の南の端の沖ノ鳥島は、島がしずまないように、コンクリートブロックで囲んで島をまもる工事が行われている。
- 日本は、領海の外側で、沿岸から200海里までの水域である排他的経済水域が国土面積より広く、領海と排他的経済水域を合わせた面積は国土面積の10倍以上になる。
→日本は、遠く離れた島が多いため。

(3) 領土をめぐる問題

- 北方領土…日本の北の端の択捉島、歯舞群島、色丹島、国後島のこと。ロシアに返還を求める。
- 竹島…島根県に属しているが、韓国が領有権を主張している。
- 尖閣諸島…沖縄県に属しているが、中国と領有権の認識がことなっている。

1 日本とまわりの海・島・国々



2 日本の地形

(1) 山地と山脈

- 日本の国土の約4分の3が山地で、平地は少ない。
- 山脈…日高山脈(北海道)、奥羽山脈(東北地方)、飛騨山脈・木曾山脈・赤石山脈(中部地方)など。
- 山地…紀伊山地(近畿地方)、中国山地、四国山地など。

(2) 平地

- 日本の人口は平地に集中している。
- 平地に見られる地形として、海に面した平地である平野、まわりを山に囲まれた平地である盆地、まわりよりも高くなっている台地、川の河口にできる三角州、山地から平地になるところに土砂が積もってできる扇状地などがある。

(3) 川…日本最大の流域面積をもつ川は利根川、日本最長の川は信濃川。

- 日本は川の数が多いが、外国の川とくらべると、長さが短くて流れが急なものが多い。
- 洪水になやまされてきた地域が多く、中部地方には輪中が見られる。

(4) 火山

- 日本は火山が多く、火山の近くには温泉や湖があり、観光などに利用されている。
- 地熱発電…火山の熱を利用した発電方式。火山の多い岩手県や大分県、鹿児島県などに多い。

2 さまざまな地形

